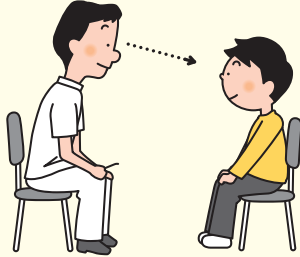


学校歯科健診パネル

健康診断の流れと要点

1. 保健調査票で本人の状態や問題点を確認する。

2. 口を閉じて姿勢を正して座らせ、姿勢・顔面・口の状態を外部から診査する。



異常あり ➡ 学校歯科医所見欄に記入

3. 顎関節部に指を当て、口を開閉させて顎関節と歯列・咬合の状態をそれぞれ診査する。



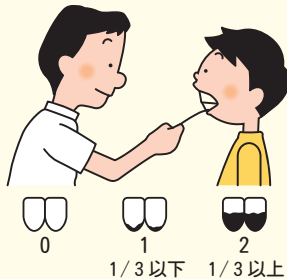
◆顎関節

異常なし ➡ 0
要観察 ➡ 1
要精密検査 ➡ 2

◆歯列・咬合

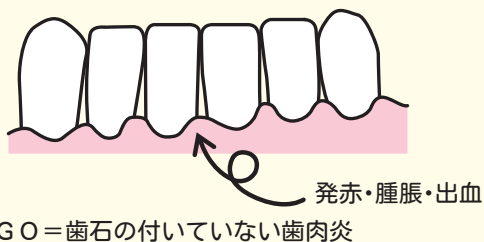
異常なし ➡ 0
要観察 ➡ 1
要精密検査 ➡ 2

4. 口を閉じた状態で前歯部の歯垢の付着状態を診査する。



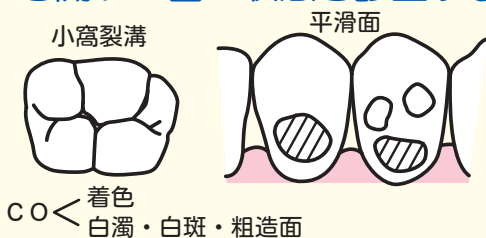
ほとんどなし ➡ 0
1/3以下 ➡ 1
1/3以上 ➡ 2

5. 口を閉じた状態で前歯部の歯肉の状態を診査する。



異常なし ➡ 0
要観察 (GO) ➡ 1
要精密検査 (G) ➡ 2

6. 口を開けて歯の状態を診査する。



要観察 ➡ CO
要治療 ➡ C

★右上顎臼歯から
→左上顎臼歯
→左下顎臼歯
→右下顎臼歯
の(コの字型健診)

7. 児童生徒が抱えている問題や相談があればそれに応じる。

歯列・咬合の診断基準について

1. 経過観察が望ましい歯列・咬合（要観察「1」の対象）



前歯部が反対咬合であるが、永久歯の交換まで経過観察



下顎右側側切歯が舌側転移しているが経過観察



正中離開と側切歯の萌出余地不足が心配されるが経過観察



犬歯の萌出余地不足が心配されるが経過観察

2. 特に注意を要する歯列・咬合（要精検「2」の対象）

■反対咬合



3 歯以上の反対咬合

■上顎前突



オーバージェットが 8 mm 以上

■開咬



上下顎前歯切縁間の垂直的空隙が 6 mm 以上。ただし萌出が歯冠長の 1/3 以下のものは除外

■叢生



隣接歯が互いの歯冠幅径の 1/4 以上重なり合っているもの

■正中離開



上顎中切歯間の空隙が 6 mm 以上

■その他



これら以外の不正咬合で特に著しい異常が認められるもの（過蓋咬合、交叉咬合、鋏状咬合、一歯のみの著しい異常など）

● その他の疾患及び異常

- 歯の硬組織の異常、歯数異常、歯の位置異常、唇・口蓋の異常、軟組織の異常、不良習癖（悪習癖）など病名及び異常名を記入。

● 学校歯科医所見欄

- 矯正治療中は「歯列・咬合」に1を付し所見欄に「矯正中」と記入。
- 歯石が認められるものは「歯石沈着」または「ZS」と記入。

学年		小学生																															
区分	1	2	3	4	5	6				2	3																						
学級																																	
氏名											性別	男	女	生年月日	年	月	日																
学校の名称																																	
年齢	年	年	歯列・咬合	顎関節	歯垢の状態	歯肉の状態	歯式																歯の状態						その他の疾病及び異常	永久歯CO歯数	学校歯科医		事後措置
							●現在歯 (例 A 6)																乳歯		永久歯						所見	月日	
							●う歯 [未処置歯 C / 処置歯 O]																現在歯数	未処置歯数	処置歯数	現在歯数	未処置歯数	処置歯数	喪失歯数	GO			4月25日
10歳	22年度	1	1	1	①	8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8	上	右	E D C B A A B C D E	左	上	下	8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8	3		21	4																

(新潟市 小中学校用健康診断票より引用)

● 歯式

現在歯

- 乳歯・永久歯とも、歯冠の全部又は一部が見えるもの
- 健全歯、未処置歯、処置歯の3つに分類
- 過剰歯は含めない
- 癒合歯、癒着歯は1歯で、上位歯の歯名をあてる

健全歯(/)(\)または(-)

- う蝕及びう蝕が原因の歯科的処置が認められないもの
- 破折歯は歯髄に及んでいないもの
- シーラント処置歯
- 実質欠損のないフッ化ジアミン銀(サホライド®)塗布歯
- 外傷歯、発育不全歯、形態異常歯も上記定義にあうもの

未処置歯 (C)

- 治療を要する歯、治療中の歯
- 2次う蝕歯

処置歯 (O)

- 修復されている歯

喪失歯 (Δ)

- 永久歯でう蝕により喪失したもの
- 外傷・便宜抜歯等で喪失した歯は、含めない

要注意乳歯 (X)

- 保存の適否を考慮する必要がある乳歯
- 交換期で自然脱落が予想される歯は含めない

要観察歯 (CO)

- う窩は認められないがう蝕の初期の徴候が認められるもの(小窩裂溝および平滑面の褐色斑、白斑、白濁)